資料 5

克災戦略研究会※1の進め方

※1 「克災」とは災害に立ち向かい克服していく自助の力強い姿勢を表現した造語

研究会の背景

風水害の多発
水害の実態
災害弱者対策
地域の災害特性
水害時の人間行動
浸水に強い街づくり　等

第1回克災戦略研究会

≪論点≫
1.水害で自衛するための観点
2.克災に役立つ製品･システム
3.研究会の進め方

H17年度
H18年度以降

第2回克災戦略研究会

≪論点≫
1.克災に向けた課題の整理
2.課題克服のためのプロジェクトの提示

克災住宅プロジェクト

洪水に対し個人の自衛力を高めつつ、安全に暮らすため、生活の基盤である住宅において、水害への安全性・耐久性を高めるとともに、効果的な防災機能を持たせる

克災ダビンチ研究会

一流最先端企業の技術者や大学等の研究者を講師に招いて、防災機関の担当者、NPOなどとコミュニケーションを図る場を設けることで、新たな技術と必要とされる防災装備等のニーズが明らかにし、克災に向けた製品開発などの新しい展開を図る

地域の防災力向上プロジェクト(仮称)

近年地域の繋がりが希薄となっているため、平時から地域の連携を強化する取り組みを実施し、地域住民が自らの身の安全は自らが守るという意識高め、地域の防災力向上を図る

各プロジェクト毎に検討を実施

メンバーの募集

◆企業
◆NPO
◆学識者(大学)
◆公的機関

プロジェクトによる検討会

1.プロジェクトの進め方
2.克服する課題
3.情報発信･普及方策等

- 克災戦略としての具体的な提案
- 個別の研究会･ワーキングへの発展
- 克災のためのシステムの構築、イベントなどの展開

第3回 克災戦略研究会

○プロジェクトからの報告
○プロジェクトのフォローアップ
○克災戦略の普及について